

# 青森県田子町の黒ニンニク、フィリピンで 原料栽培・製造販売へ ～JICA 事業で黒ニンニクを海外展開～

## 高品質かつ収量の増加でフィリピン国農家の収益性向上を実証

国際協力機構（JICA）は「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（中小企業支援型）」において株式会社たから（青森県三戸郡田子町、寶田喜美男 代表取締役社長）が提案する「フィリピン国黒ニンニクバリューチェーン普及・実証・ビジネス化事業」を採択しました。

### ★フィリピンのニーズ

フィリピンでは、経済発展に伴う中間所得層の出現にともない、健康意識の高まりによる対応する食品ニーズや国内観光需要が増大しています。

コロナ禍前は年間 340 万人も観光に訪れるフィリピンのイロコスノルテ州は、同国のニンニク生産量の7割を占める産地であり、ニンニクは同州の主要特産品として栽培や販売されていました。しかしながら、同国では、ニンニクの輸入自由化による、安価な輸入品の増大にともなう現地ニンニク生産農家の収益が圧迫されており、農業振興の対応策が求められています。しかしながら、高付加価値化を実現するニンニク栽培や加工のノウハウがないため、これまでのフィリピン政府のテコ入れにも関わらず栽培意欲につながる成果があがってありませんでした。

### ★株式会社たからの技術により期待される事業効果

株式会社たからは、青森県の田子町でニンニクの自社栽培、近隣農家からの購入、卸売、加工、小売までの一貫したバリューチェーンを実施するニンニク専門の会社です。同社は「青森黒ニンニク協会」のリーダー企業として「黒ニンニク」の質量向上に努め、その「黒ニンニク」は機能性表示食品であり、良質な原料と高性能なオリジナルで開発した熟成機で製造されています。

長年、田子町で培ってきた同社の技術やノウハウを用い、フィリピンイロコスノルテ州でのニンニクを通じた農業振興と、同社の「黒ニンニク」の原料栽培、製造と販売のビジネス展開の可能性も探ります。

## ★今回の採択事業調査内容

株式会社たからは2018年にもJICA 中小企業海外展開支援事業・案件化調査事業(事業名称は当時)に採択され、フィリピンイロコスノルテ州で同社の黒ニンニク栽培、製造・製品化ノウハウ等を活用したビジネスアイデアやビジネスモデルを策定する調査を行いました。今回採択されたJICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業・普及・実証・ビジネス化事業」では、同州にある国立大学をパートナー機関として、同州の特産品のニンニクを高付加価値商品として実現するため、原料に適切な大玉サイズのニンニク栽培から加工、製品化、販売につなげるための市場評価までのバリューチェーンの普及・実証・ビジネス化調査に取り組みます。

なお、本調査事業には青森銀行もJICA 事業メンバーとして参画されます。

## ★中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

中小企業・SDGs ビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。全国の企業に広く活用していただくことで、各地の地域経済活性化にも役立つことが期待されます。

今回の2022年度公示では、全国で59件、東北地域では2件(株式会社 菅原工業 [宮城県]、株式会社たから [青森県])が採択されました。

## 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当：水車  
TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090  
e-mail: thicjpp@jica. go. jp

～本ビジネスが達成に貢献するSDGs～

